

ふくし

なかがわ

共に支え合い・誰もが安心して暮らせる
「ふくしのまち」をめざして

第86号

2020.11

発行：社会福祉法人
那珂川町社会福祉協議会



金

くるう

黒鶴

み

お

美音さん

（馬頭小学校5年）



「ふくしなかがわ」は、赤い羽根共同募金の配分金並びに社会福祉協議会の会費を活用して発行しています。

ふくしのまちポスター展 表彰式

10月31日、馬頭総合福祉センターにおいて、令和2年度ふくしのまちポスター展表彰式を開催し、受賞者7名の方に賞状並びに記念品を贈呈しました。

なお、金賞の黒鶴さんの作品は、令和3年度の赤い羽根共同募金運動のポスター図案となります。



受賞作品



安達優奈さん
(馬頭小学校6年)



森島愛唯さん
(小川小学校6年)



秋山はる子さん
(小川小学校4年)



石澤孝太郎さん
(馬頭小学校5年)



渡邊琳香さん
(馬頭小学校5年)



渡邊小緩さん
(小川小学校6年)



各地区で地域密着型サロンが再開しました！

地域密着型サロンは、行政区ごと（一部合同開催あり）に高齢者の生きがいや居場所づくりを目的に開催されていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、開催が延期となっていました。

7月からは各地区で順次再開され、久しぶりに会った参加者は会話も弾み、あっという間の楽しいひと時を過ごしていました。また、次回の内容を決める話し合いでは、感染予防に配慮しながら実施できるようなアイディアが積極的に出され、開催を楽しみにしていた様子が伺えました。

これからも、毎年3行政区を目標に開催地区を増やしていきますので、その際にはご協力をお願いいたします。

生活支援コーディネーター(SC) 加藤



5区(輪投げ)

感染予防対策としてビニール手袋を使用し、レクリエーションを楽しみました。



小口(ウォーキング)

ソーシャルディスタンスに心がけ、秋の長峰の散策を楽しみました。

SC活動報告①

大山田上郷見守り隊会議

今年度2回目となる見守り隊会議に参加してきました。地域の見守り対象者の近況報告や見守りを行う上で困ったことなど、隊員同士の積極的な情報交換が行われました。

【SCの感想】

隊員のみなさんの見守りにより、見守り対象者の方々は地域で安心した生活が送れているのですね。

隊員のみなさん、いつもありがとうございます。



SC活動報告②

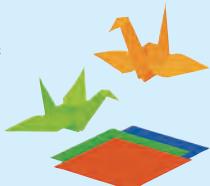


南町お茶会

新型コロナウイルスのため開催が延期されていた、「南町お茶会」が開催されるとのことから、参加してきました。

【SCの感想】

「しゃべることは元気の秘訣」ですね。参加者のみなさんから、楽しい時間をプレゼントしていただきました。次回も参加させていただきます。また、折り紙、やりましょうね！



シトラスリボン作成ボランティア募集!

当会では、「シトラスリボンプロジェクトIN とちぎ」に賛同し、コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくそうという運動に取り組んでいます。

さらに、プロジェクトの輪を広げるために、リボンを作成してくださる方を募集しています。作り方の説明図を用意してありますが、社会福祉協議会ボランティアセンターにご連絡いただければ、丁寧にお教えいたします。

今までもたくさんの方にご協力いただき、医療機関、薬局、福祉施設等34か所に配布してきました。那珂川町役場庁舎、同小川出張所、馬頭総合福祉センター入り口にも置いてありますので、どうぞご自由にお持ちいただき、シトラスリボンの輪を広げましょう。

連絡先 ☎ 0287-92-2226



ただいま、おかえりって言いあえるまちに
みんなで広げよう、
シトラスリボンプロジェクト。



Citrus Ribbon
PROJECT

in tochigi



那珂川社協
Support Our Local

那珂川町社会福祉協議会は、シトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

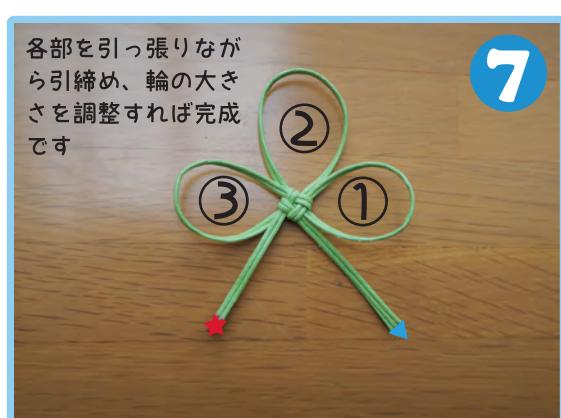
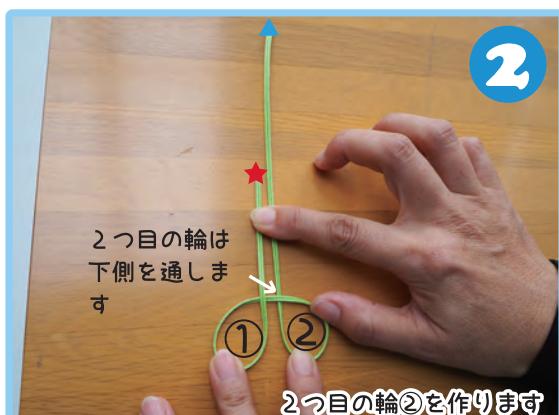
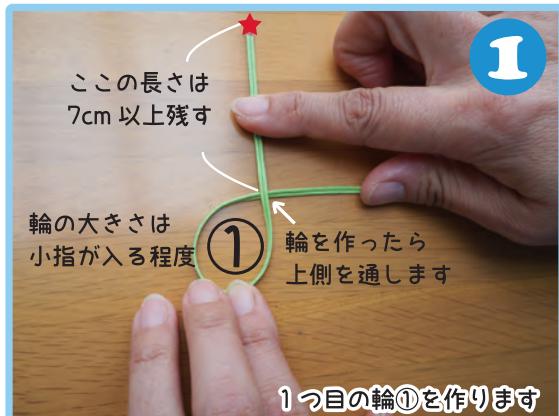
当たり前と思っていた普段の暮らしを搖さぶっている新型コロナウイルス。
たとえ感染しても、誰もが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会に。
そんな願いから、このプロジェクトは生まれました。
「ただいま」「おかえり」と心から言い合えるヒトの輪を木でも作りましょう。

3つの輪が表すもの



プロジェクトの詳細は
こちらでご覧ください。

シトラスリボンの作り方





最御長寿 川端 秋男様(97)
「足が痛むけど、杖について歩くことができている。転ばないように頑張りたい。」
とおっしゃっていました。

社協ディサービス敬老会

残暑が和らぎ始めた9月14～18日に、ディサービス敬老会を開催しました。

感染症予防のため、ボランティアの方々をお招きすることができませんでしたが、感謝状・名前入りタオルの贈呈や敬老祝御膳、スタッフの特技を生かした舞踊を披露して楽しい時間を過ごすことができました。



ディサービスの利用者様の日常の様子は、那珂川町社会福祉協議会ツイッターに掲載しています。

相談支援係のご案内

総合相談窓口

同様に設置された中央福祉相談センターでは、いろいろな問題を抱えて、どのように解決すればよいか分からず、どこに相談したらいいか分からないといった、さまざまな福祉問題について、制度や相談支援の分野を越えてワンストップ（たらい回しにしない）でご相談に応じます。ご相談内容に応じて、様々な機関と連携し、問題解決を図ります。

障害者の相談支援窓口

身体・知的・精神などの障害をお持ちの方やそのご家族様からの相談を受け付けています。生活の困りごとや、福祉サービス利用のご案内を行います。

低所得者や生活困窮者の相談窓口

経済的な困りごとについて、相談者と一緒に考え整理しながら必要な支援を行います。また、ご相談内容に応じて各種支援機関のご紹介を行います。

相談するには？

- ・月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く）午前8時30分～午後5時15分
- ・直接来所するか、電話、メールでご相談ください。
- ・希望により訪問する事も可能です。相談は無料、秘密は厳守いたします。

問い合わせ

〒324-0613 那珂川町馬頭560-1 馬頭総合福祉センター内
町社会福祉協議会 相談支援係（中央福祉相談センター）
☎ 0287-92-3002（直通） 0287-92-2226（社協代表）
✉ pony@nakagawa.syakyo.com



「無料法律相談」のご案内

【日 時】令和3年1月19日（火）午後1時～午後3時

【場 所】馬頭総合福祉センター

【対 象】那珂川町民（4名まで）

【申 込 み】町社会福祉協議会 ☎ 0287-92-3002

【受付期間】12月7日（月）～1月12日（火）

【受付時間】平日の午前8時30分～午後5時



ここが
ポイント！



相談するときのコツをご紹介します。

相談時間は約30分です。短い時間でより適切なアドバイスを受けるためには、いくつかのコツがあります。

- ①できるだけ本人が相談に行きましょう。（相談者が高齢の方や障害がありサポートが必要な場合は、付き添いをお願いします。）
- ②関係のある書類・資料は、すべて持参しましょう。
- ③事実をすべてありのままに伝えましょう。
- ④出来事を時間順に並べたメモを用意しましょう。
- ⑤自分はどうしたいのかを考えておきましょう。



赤い羽根共同募金に ご協力をお願いします!

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まっています。

皆様からお寄せいただいた募金は、町内での社会福祉活動の貴重な財源となる他、県内の民間福祉施設の設備改修・福祉機器整備に使われます。

募金運動中
10/1~12/31



赤い羽根共同募金

那珂川町では…

○高齢者福祉活動費

- ・見守り活動
- ・地域での居場所づくり
- ・高齢者団体の育成支援 など



○住民全般活動費

- ・広報誌の発行
- ・登下校時見守り活動
- ・ポスター展 など



○児童・青少年福祉活動費

- ・新入学児童への交通安全傘配布
- ・子育て支援団体等の育成支援
- ・ひとり親家庭招待事業 など



○障害児・者福祉活動費

- ・在宅障害者レクリエーション事業
- ・障害者団体等の育成支援 など



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

ご寄付

8月21日～10月20日(敬称略・順不同)

福祉振興基金

- ・益子 和弘(健武 152・153回) 各 30,000円

善意銀行

- ・匿名(551・552回) 各10,000円

その他

- ・鈴木 建夫(富山) 100,000円
- ・匿名 10,000円
- ・大野ゴム工業(株)馬頭工場
50周年記念 車イス 1台

ありがとうございました。

おしらせ版

社協HP



twitter

